

報道各位

一般社団法人日本船用工業会

次世代海洋エンジニア会 第3回交流会を実施
- 今回から船社・造船所も参加 -

今般、当会会員企業における若手技術者の人材育成の一環として、「次世代海洋エンジニア会 (NGMEA : Next Generation Marine Engineer Association)」の第3回交流会を、11月29日～12月1日の2泊3日にわたり、当会会員企業に加え、今回より新たに船社及び造船のメンバーを迎え実施した。本事業では、同一メンバー参加の下、2年間にわたり計5回の交流会を行う予定。第3回交流会参加数は、総勢38社48名（うち、船用企業27社34名、船社6社6名、造船所5社8名）

本事業は、平成30年10月に当会技術開発戦略検討委員会で取り纏めた「今後の技術開発事業のあり方」において、今後の船用工業を支える若手技術者職員の、①技術者としての能力向上・育成、②海事クラスター内の技術者の交流・ネットワーキングの構築、③異分野の技術者との交流を通じた意識改革、④異分野と連携した新しい発想に基づく製品開発の機会の創出が必要とされたことを受けて、10年後を見据えた各社の将来を担う優秀な若手技術者間の深い交流を築く機会を提供することを目的としている。

第3回交流会は、現下の新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しつつ、参加者に事前のPCR検査を求めるなど感染予防対策を徹底し、対面での合宿形式でアイデアソンを実施するとともに、最終日には福島県にある櫛葉遠隔技術開発センター（以下、NARREC）の見学を行った。

1日目は、今回利用した福島県にある宿泊施設J VILLAGEの特色を活かしたアイスブレイクのプログラムを取り入れ、ウォーキングサッカーを実施した。はじめは、新たに仲間に加わった船社・造船所メンバー間との緊張感もあったが、スポーツを通じてほぐれたように見受けられた。

2日目は、アイデアソン事業を運営するNEWRON(株)(ファシリテーター：宮内範明氏、西井香織氏、グラフィックレコーダー：齋藤愛氏)の協力のもと、「海事産業が抱える課題に対し、3者間（船用・海運・造船）で取り組むべき協調領域を検討し、Win-Win-Winとなる具体的な解決策」を立案することを目的としたアイデアソンを実施した。また、インプットトークとして当会安藤専務理事より「海事産業が抱える課題と最新の取組事例の紹介」を行った。

3日目は、NARRECを訪問し、同施設が所有するバーチャルリアリティ(VR)システム体験、試験棟の見学(ロボット試験用水槽、モックアップ階段、モーションキャプチャ)を実施した。また、見学(午前・午後の2交代)以外の時間では、前日のアイデアをブラッシュアップし、第5回交流会に予定する成果報告会に向けた準備を班ごとに行った。

新メンバーが加わったことにより当初緊張した面持ちであった参加者も、2泊3日の合宿を通じて交流を深めるとともに、アイデアソンにおいて異業種間で積極的に意見交換を行う様子が見て取れ、本交流会は成功裏に終了した。

1. 実施期間：令和4年11月29日（火）～12月1日（木）
2. 研修場所：J VILLAGE
3. 施設見学：檜葉遠隔技術開発センター
3. 参加者：38社48名（50音順）

(株)赤阪鐵工所、今治造船(株)、(株)宇津木計器、(株)MTI、尾道造船(株)、(株)カシワテック、
(株)京泉工業、栗林マリタイム(株)、(株)ササクラ、(株)サンフレム、(株)ジャパンエンジンコー
ポレーション、(株)商船三井、新日本海フェリー(株)、大晃機械工業(株)、ダイハツディ
ーゼル(株)、大洋電機(株)、高階救命器具(株)、(株)鷹取製作所、田渕海運(株)、東京計器(株)、
ナブテスコ(株)、西芝電機(株)、日本シップヤード(株)、日本郵船(株)、バルチラジャパン(株)、
阪九フェリー(株)、阪神内燃機工業(株)、BEMAC(株)、(株)日立ニコトランスミッション、
(株)福井製作所、古野電気(株)、兵神機械工業(株)、三浦工業(株)、三井E&S造船(株)、三菱重
工マリンマシナリ(株)、三菱造船(株)、山科精器(株)、ヤンマーパワーテクノロジー(株)
(船社には実線、造船には破線のアンダーラインを付した。)



初日アイスブレイク



ウォーキングサッカー



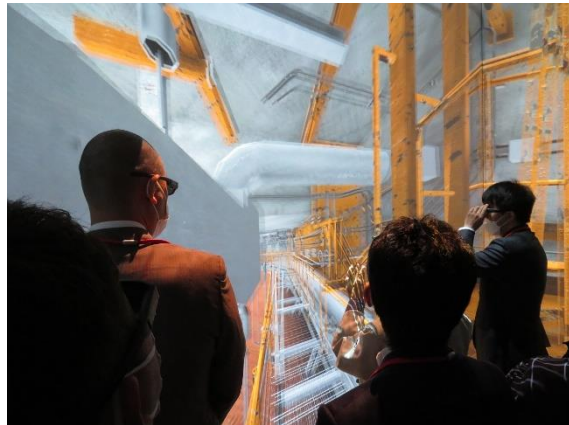
アイデアソン風景①



アイデアソン風景②



NARREC 見学①



NARREC 見学②



集合写真①



集合写真②



集合写真③

(事務局問合せ先)

技術部 文屋/三田村 TEL: 03-3502-2041 E-mail: mitamura@jsmea.or.jp

以上